



Japan
Food
Research
Laboratories

試験報告書

第 201060215-002 号

依頼者 株式会社スリーケーコーポレーション

検体 ミラクルランP

試験項目 抗菌力試験

平成 13 年 06 月 04 日 当センターに提出された
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 13 年 06 月 28 日

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号

抗菌力試験

1 依頼者

株式会社スリーケーコーポレーション

2 検 体

ミラクルランP

3 試験目的

検体の抗菌力を試験する。

4 試験概要

検体を添加した精製水を40℃で30、60及び90分保存後、大腸菌の菌液を接種(以下「試験液」という。)し、保存1時間後に試験液中の生菌数を測定した。

5 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 試験液1 ml当たりの生菌数測定結果

| 試験菌 | 検体添加後の 保存時間 | 生 菌 数 (/ml) | |
|-----|----------------|-------------------|-------------------|
| | | 開始時 | 1時間後 |
| 大腸菌 | 30分 | *** | 3.0×10^2 |
| | 60分 | *** | 4.9×10^2 |
| | 90分 | *** | 5.4×10^2 |
| | 対 照 | 4.8×10^5 | 3.1×10^5 |

***：試験実施せず

対照：精製水

6 試験方法

1) 試験菌株

Escherichia coli IF0 3972(大腸菌)

2) 菌数測定用培地及び培養条件

標準寒天培地[栄研器材株式会社], 混釈平板培養法(35 °C 2日間培養)

3) 試験菌液の調製

試験菌株を普通寒天培地[栄研化学株式会社]で35 °Cで18~24時間培養した後, 菌体を生理食塩水に浮遊させ, 1 ml当たりの菌数が約 10^8 となるように調製し, 試験菌液とした。

4) 試験操作

検体約5 gを精製水500 mlに添加し, 40 °Cで30, 60及び90分保存した。これらに試験菌液1 mlを接種し, 試験液とした。試験液を40 °Cで保存し, 保存1時間後に試験液中の生菌数を菌数測定用培地を用いて測定した。

なお, 対照として, 検体無添加の精製水について同様に試験した。ただし, 生菌数の測定は接種直後についても行った。

以 上